

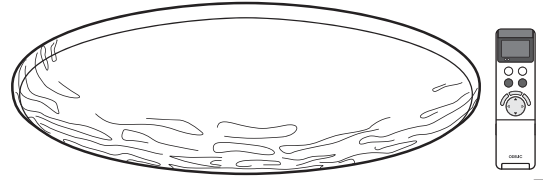
●お客様へ：このたびはオーデリック照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。取扱説明書は保管してください。

この製品は、お客様ご自身での取り付けが可能です。
(指定の配線器具が設置されている場合のみ)

●施工者様へ：施工後、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

屋内用 シーリングライト

製品型番 **OL 291 350R**



リモコン品番
NRL-322A-JP

もくじ

| | | | |
|-------------------|---------|------------------------|--------|
| 1 安全上のご注意 | 1 ページ | 9 調光・調色をする | 7 ページ |
| 2 設置場所の確認 | 2 ページ | 10 シーン点灯について | 8 ページ |
| 3 配線器具の確認 | 2 ページ | 11 タイマー (TIMER) をセットする | 8 ページ |
| 4 各部の名称 (器具本体) | 2 ページ | 12 かんたんタイマーをセットする | 9 ページ |
| 5 器具の取り付け | 3~4 ページ | 13 壁スイッチで操作する | 9 ページ |
| 6 各部の名称 (リモコン送信器) | 5 ページ | 14 故障かなと思ったら | 9 ページ |
| 7 リモコン使用上のご注意 | 6 ページ | 15 保守・点検・その他の留意点 | 10 ページ |
| 8 リモコンの設定をする | 6~7 ページ | 16 仕様 | 10 ページ |
| | | 17 保証とアフターサービス | 10 ページ |

1 安全上のご注意：必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するため、内容をよくご確認ください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしたりしない
火災、感電、落下の原因になります。



浴室禁止



屋外禁止

●浴室等の湿気の多いところや屋外では使用しない
火災、感電の原因になります。



禁止

●布や紙などで覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしない
火災の原因になります。
●器具の隙間や放熱穴にものを差し込まない
火災、感電の原因になります。



必ず実施する

●重量に耐えるところに確実に取り付ける
落下によるけがの原因になります。

●取り付けは取扱説明書にしたがい確実にこなう
不完全な取り付けは、火災、感電、けがの原因になります。

●電源接続は取扱説明書にしたがい確実にこなう
接続不良による火災の原因になります。

●グローブ等の部品をはずし再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付ける
不完全に取り付けると落下し、けがの原因になります。

●お手入れの際には電源を切る
感電の原因になります。

●異常を感じた場合は速やかに電源を切る
異常状態がおさまったことを確認し、販売店または工事店にご相談ください。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。



禁止

●腐食性ガス・粉じんの影響を受ける場所、振動の多い場所では使用しない
損傷、過熱、火災、感電、落下の原因になります。
●調光器は使用しない (100%点灯でも使用不可)
故障、火災の原因になりますので、必ず取り外してください。
●ストーブなど温度の高くなるものを器具の真下に置かない
故障、火災の原因になります。



スプレーがけ
水洗い禁止

●水洗いしたり、スプレー式洗剤をかけたりしない
故障、感電、火災の原因になります。



接触禁止

●点灯中や消灯直後のランプおよび器具にさわらない
やけどの原因になります。



必ず実施する

●表示された電源電圧で使用する
火災、感電の原因になります。

●電源工事は必ず販売店・工事店 (有資格者) に依頼する
一般の方の電源工事は禁止されています。

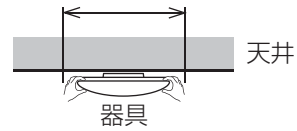
●定期的に清掃、点検をする
不具合を発見した場合は使用を中止し、販売店・工事店に修理を依頼してください。

2 設置場所の確認：取付前にご確認ください

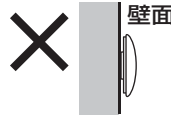
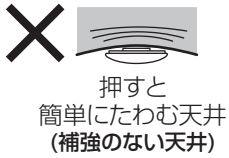
天井面取付専用/傾斜天井専用対応45度まで

◎器具サイズ以上の平らな天井面に取付けてください。

器具サイズ以上の平らな面



警告 下記のような場所には取り付けられません。落下によるけがの原因となります。



3 配線器具の確認：取付前にご確認ください

以下の配線器具がついていれば一般の方でも取り付けが可能です。

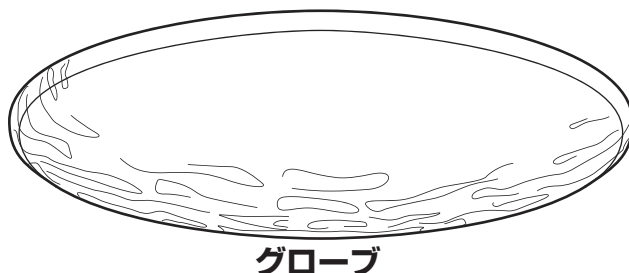
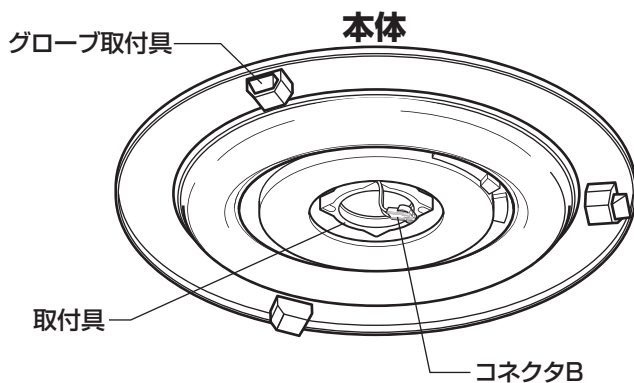
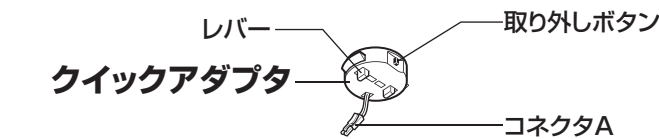


警告 下記のような配線器具には取り付けられません。火災、感電、落下によるけがの原因となります。



電気工事店(有資格者)に依頼して配線器具を交換してください。一般のかたの電源工事は禁止されています。

4 各部の名称(器具本体)



付属品



5 器具の取り付け

【注意】 壁スイッチのある部屋に取り付けてください。

●安全のため、電源を切ってから取り付けてください。

[1] クイックアダプタを配線器具に接続する。

天井の配線器具にクイックアダプタを取り付け、カチッと音がするまで右にまわしてください。



【取りはずす場合】

クイックアダプタの取り外しボタンを押しながら左にまわしてください。

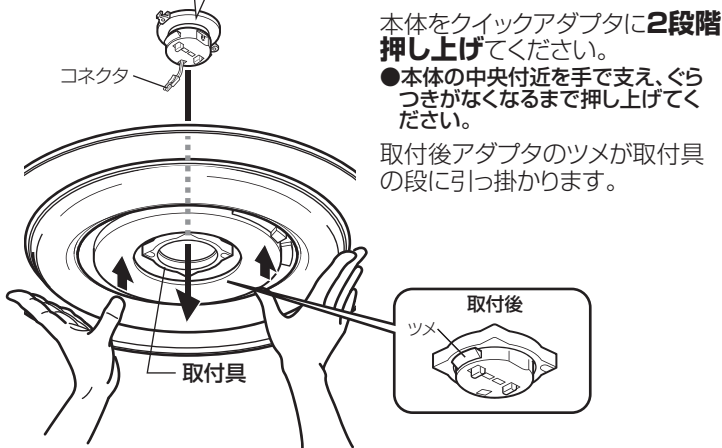
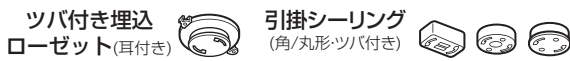
【注意】 取り外しボタンを押さずにまわすと配線器具を破損します。



[2] 本体を取り付ける。

(1) 本体をクイックアダプタに押し上げてください。

- コネクタをはさみ込まないように注意してください。
- ※配線器具によって2つの取り付けかたがあります。



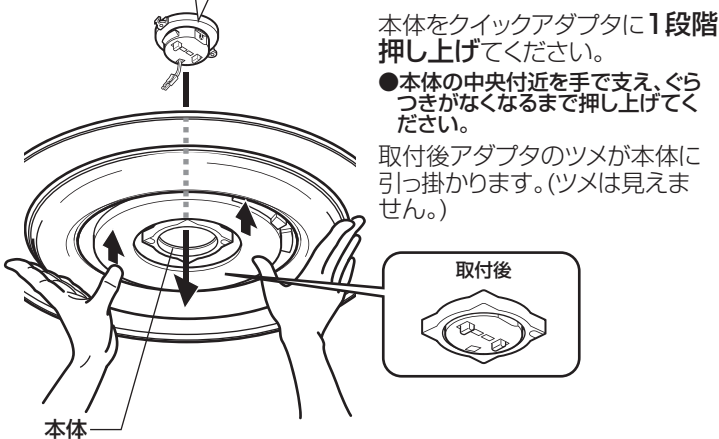
本体をクイックアダプタに**2段階**押し上げてください。

●本体の中央付近を手で支え、ぐらつきがなくなるまで押し上げてください。

取付後アダプタのツメが取付具の段に引っ掛かります。

【警告】 本体がガタついたり、簡単に回転する場合は確実に取り付けられていません。その場合は再度本体の取り付けをおこなってください。

引掛埋込ローゼット (耳付き・耳なし)



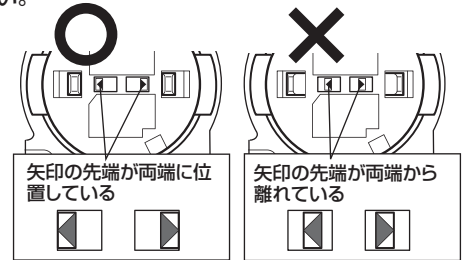
本体をクイックアダプタに**1段階**押し上げてください。

●本体の中央付近を手で支え、ぐらつきがなくなるまで押し上げてください。

取付後アダプタのツメが本体に引っ掛かります。(ツメは見えません。)

(2) アダプタの矢印の位置を確認してください。

矢印の先端が両端から離れている場合、本体が確実に取り付けられていません。その場合は再度強く押し上げてください。



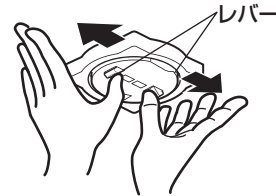
【警告】 本体が確実に取り付けられていないと落下によるけがの原因となります。必ずご確認ください。

【本体を取りはずす場合】

本体を両手で天井に押し付けながら、レバーを外側にスライドさせてください。

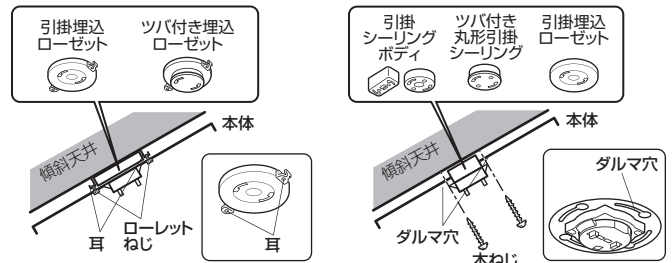
【警告】

両手でささえずにレバーをスライドさせると本体の落下によるけがの原因となります。必ず両手でささえながら本体を外してください。



■傾斜天井に本体を取り付ける場合

- 必ず付属のローレットねじまたは、木ねじをご使用ください。
ローレットねじまたは、木ねじを使用しないで器具を取り付けた場合、落下によるけがの原因となります。
- 傾斜角が45度を越える天井には取り付けられません。

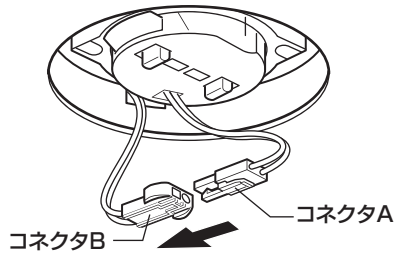


1. 水平天井の場合と同様に取付けてください。
 2. 付属のローレットねじをローゼットの耳にドライバー等で固定してください。
1. 水平天井の場合と同様に取付けてください。
 2. 付属の木ねじをダルマ穴に取り付けてください。
 - 本体が歪まない程度に締め付けてください。
 - 木ねじは必ず補強のある場所に取り付けてください。

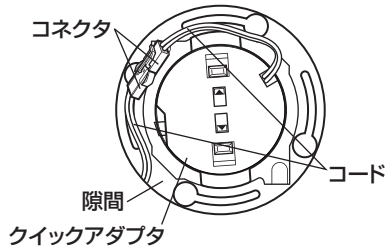
【警告】 本体が確実に取り付けられていないと落下によるけがの原因となります。必ずご確認ください。

[3] コネクタを接続する。

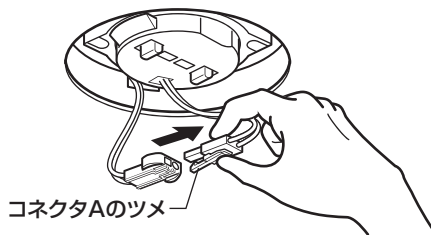
(1) コネクタAをコネクタBに確実に差し込んでください。



(2) コネクタとコードをクイックアダプタと取付具の隙間に押し込んでください。



【取りはずす場合】 コネクタAのツメを押さえながら引き抜いてください。



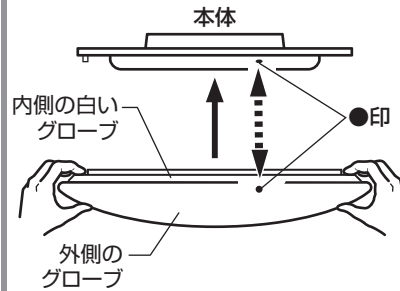
[4] グローブを取り付ける。

⚠注意 グローブが確実にハマっていないと落下によるけがの原因となります。

グローブについて

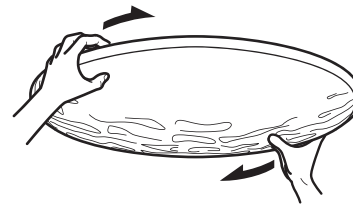
必ず内側の白いグローブと外側のグローブの両方を挟むように持ってください。

※挟むように持たないで使用すると、グローブの破損の原因になります。



(1) 両手で内側の白いグローブと外側のグローブの両方を挟むように持ってください。

(2) 本体とグローブのそれぞれの●印(位置合わせマーク)の位置を合わせて、グローブを水平に押し上げてください。



(3) 両手で内側の白いグローブと外側のグローブをしっかりと持って、3カ所のグローブ取付具に確実に止まるまで時計回りにまわしてください。

※取付後、グローブを下に引いて、はずれないことを確認してください。

【取りはずす場合】

両手で内側の白いグローブと外側のグローブをしっかりと持って、反時計回りにまわしてください。

6 各部の名称(リモコン送信器)

NRL-322A-JP

液晶画面
イラストは説明のための表示です。実際この表示にはなりません。

時刻表示 00 }時間
00 }分

常夜灯マーク
◎常夜灯点灯時に表示されます。
明るさの度合いは表示されません。

送信部

全灯ボタン
◎暖色100%+寒色100%で点灯します。

消灯ボタン

光色選択ボタン
◎暖色ボタン
◎電球色で点灯します。(暖色100%+寒色0%)
◎中間色ボタン
◎白色で点灯します。(暖色100%+寒色100%)
◎寒色ボタン
◎昼光色で点灯します。(暖色0%+寒色100%)

TIMER
◎お好みの時刻に自動点灯(ON)、自動消灯(OFF)します。
⇒「11 タイマー (TIMER)をセットする」

かんたんタイマー
◎セットしてから一定時間後に自動点灯(または消灯)できます。
⇒「12 かんたんタイマーをセットする」

タイマー繰り返しボタン
◎タイマーを毎日繰り返し作動させる機能です。
⇒「11 タイマー (TIMER)をセットする」

液晶画面
TIMER
Simple Timer
AM
PM
00
00
m

タイマー予約マーク
◎TIMERまたはかんたんタイマーセット時に表示されます。

調光バー
◎暖色・寒色それぞれの明るさの度合いを示します。
暖色側を示す橙色印
寒色側を示す水色印

シーンボタン
◎お好み明るさ設定を再生します。
⇒「10 シーン点灯について」

常夜灯ボタン
◎常夜灯が点灯します。
●押すごとに明るさが100%→70%→30%→100%…と切り替わります。
●常夜灯の調色はできません。

調光・調色ボタン
◎光色と明るさを調節します。
⇒「9 調光・調色をする」

時刻設定ボタン

時計設定ボタン

リセットボタン
◎現在時刻をリセットします。

チャンネルスイッチ
CH
1 2 3

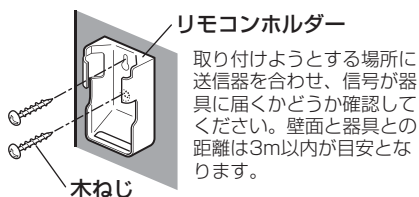
前面カバー

カバー

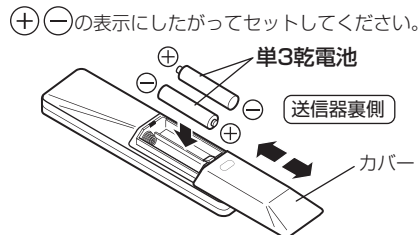
送信器裏側のカバー内にあります。

ご注意
先の尖ったものや爪でボタン操作しないでください。破損の原因になります。

ホルダーの取り付けかた



乾電池の取り付けかた



- 電池交換の際は2本とも新しい電池と交換してください。1本だけですとリモコンが正しく動作しません。
- 電池交換に要する時間が30秒を超えた場合、購入後におこなった設定がすべてリセットされ初期設定に戻ります。
- 乾電池を長期間セットしたままですと液漏れが原因で故障することがあります。長期間使用しない場合は必ず乾電池をはずしてください。
- 付属の電池は初回使用のためのものですので短期間で消耗する場合があります。
- 使用済みの乾電池は可燃ゴミに混ぜたり、燃やさないでください。破裂や液漏れの原因になることがあります。

7 リモコン使用上のご注意

送信部・器具を汚さないでください。リモコンが作動しにくくなります。

送信器は器具に向けて操作してください。天井面が極端に暗い色などの場合、感度が落ちることがあります。

落としたり、水をかけないでください。故障の原因となります。

壁スイッチをONにしてください。OFFの場合リモコン操作できません。

器具と送信器との距離は3m以内を目安としてください。

以下のような場所ではリモコン操作できない場合があります。

器具に蛍光灯の光が直接当たっている

器具の近くにガラスや遮へい物があり送信の妨げになる

ネットやガラスなど光を減衰・反射する物がある

タイマー設定時刻になると送信器から信号が送信されます。正しく送信されるよう次のことをお守りください。

現在時刻が正しくセットされているか確認してください。

タイマー設定中または設定後にチャンネルを切り替えないでください。

タイマー設定後、壁スイッチをOFFにしないでください。

タイマー設定後、送信器は必ず信号が届く場所に置いてください。

タイマー設定後、送信器に物をかぶせたり向きを変えたりしないでください。

8 リモコンの設定をする

[1] 現在時刻を合わせる タイマー予約の際必要です。必ず正しい時刻にセットしてください。*初期設定は「AM0:00」です。

例 現在時刻が「AM10:35」の場合

(1) 時計設定ボタンを押す
液晶画面の時刻表示が点滅します。

(2) 時刻設定ボタンで時間を「10」、分を「35」に合わせる
時間は1時間単位で設定できます。
0:00に達するごとに「AM」⇄「PM」と交互に切り替わります。図1
分は1分単位で設定できます。

(3) 時計設定ボタンを押す
設定完了
時刻表示の点滅がとまります。

図1 AM⇄PM

(2)

(1) (3)

●設定中何れも必ず30秒間経過すると設定が解除され通常画面に戻ります。

[2] 送信器と器具のチャンネルを合わせる(チャンネル設定) ※器具を1台のみ使用する場合は、チャンネル設定は不要です。

※器具を複数使用する場合にチャンネル設定をおこないます。

チャンネルを切り替えることにより、複数の器具を別々に操作または同時に操作できます。

【器具3台を別々に操作する】
チャンネル1 チャンネル2 チャンネル3

【器具3台を同時に操作する】
チャンネル1 チャンネル1 チャンネル1

ご注意
チャンネルが違っているとリモコン操作できません。

チャンネル設定(変更)方法

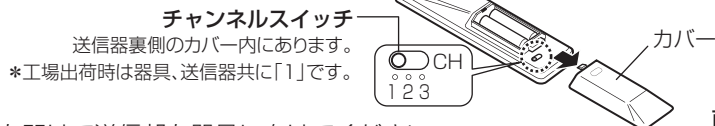
チャンネル設定(変更)したい器具の壁スイッチをONにしてください。

ご注意

この時、チャンネルを変更したくない器具の壁スイッチをOFFにしてください。
ONになっているとチャンネルが変更されてしまいます。



- (1) 送信器のチャンネルスイッチを設定したいチャンネルに切り替えてください。



- (2) 前面カバーを開けて送信部を器具に向けてください。

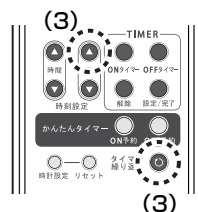
- (3) 分 \odot とタイマー繰り返し \odot を同時に押してください。

- (4) 同時に押すとブザー音が鳴りますので、設定の確認をおこなってください。

- ・チャンネル1に設定した場合→ブザー音が「ピッ」と鳴ります。
- ・チャンネル2に設定した場合→ブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- ・チャンネル3に設定した場合→ブザー音が「ピッピッピッ」と鳴ります。

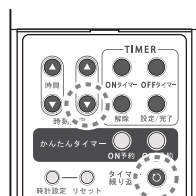
※チャンネル設定時は、ブザー入切に関わらずブザー音が鳴ります。

前面カバー内部



[3] ブザー(操作音)入/切の設定方法

*工場出荷時ブザー「入」
通常は「入」のままでご使用ください。「切」にするとブザーは鳴りません。



- (1) 送信器のチャンネルスイッチを設定したい器具と同じ数字にしてください。

- (2) 分 \odot とタイマー繰り返し \odot を同時に押してください。

※押す度に「入 \leftrightarrow 切」と切り替わります。

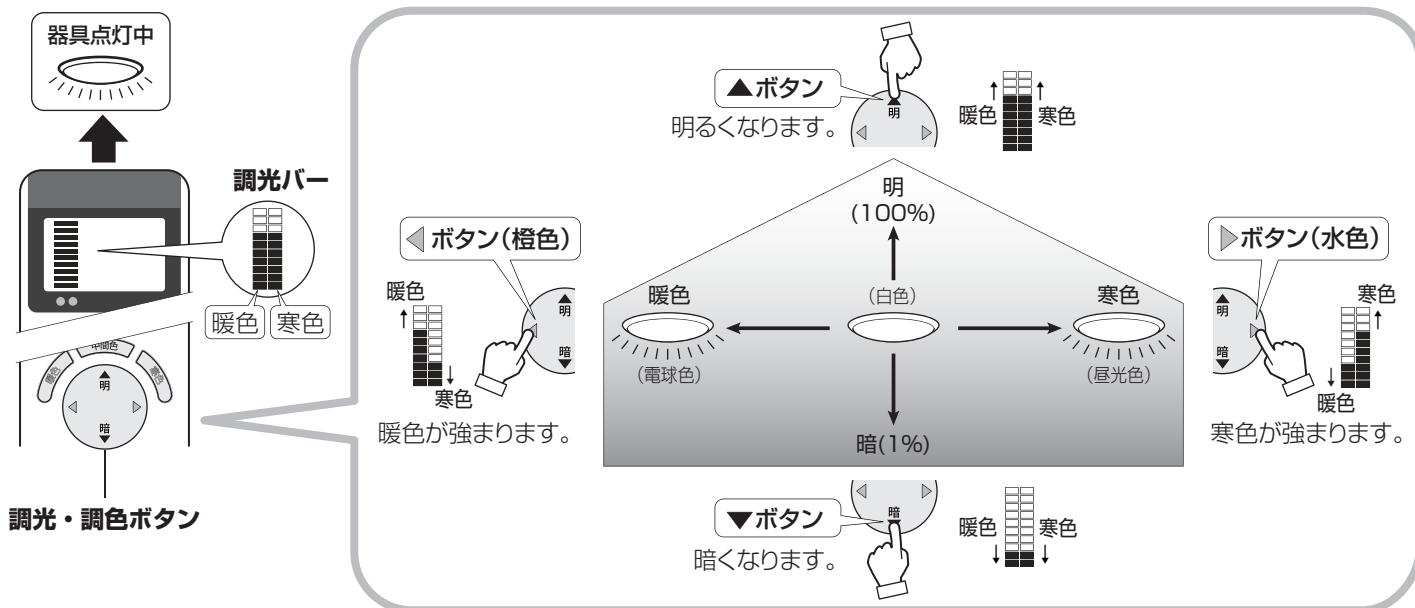
「入」の場合→ブザー音が「ピピ」と鳴ります。

「切」の場合→ブザー音が「ピー」と鳴ります。

※設定時は、ブザー入切に関わらずブザー音が鳴ります。

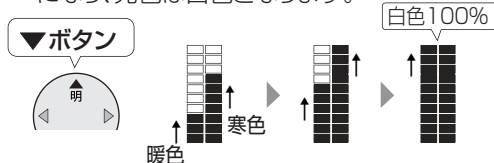
9 調光・調色をする

器具点灯中に調光・調色ボタンを操作します。(※常夜灯は調光・調色ボタンでは調光できません。また調色もできません。)

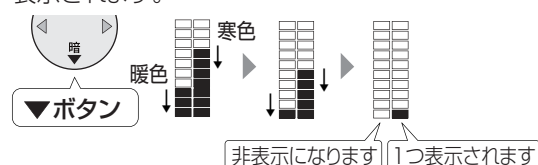


お知らせ

暖色・寒色の明るさが違うときに▲ボタンを押し続けると、暖色・寒色ともに最大の明るさになり、光色は白色となります。



また、▼ボタンを押し続けると先に下限に達した方のバーが非表示になり、もう一方のバーが1つ表示されます。



10 シーン点灯について

[1] シーン点灯する

シーンボタンを押してください。 *工場出荷時は「暖色約70%、寒色約70%」です。

シーン



[2] シーン設定方法

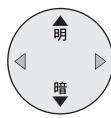
お好みの明るさに設定できます。

(1) シーンボタンを2秒以上長押しする
調光バーが点滅します。

2秒以上長押し



(2) 調光・調色ボタンで、お好みの明るさに設定する
「9 調光・調色をする」を参考に設定してください。

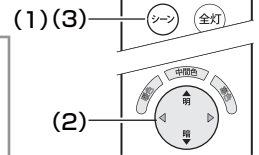


(3) シーンボタンを押す

設定完了

調光バーの点滅がとまります。

シーンボタンを押すと設定した明るさで再現されます。



●設定中何もせず3秒間経過すると直前の状態をシーンとして記憶し、通常画面に戻ります。

11 タイマー (TIMER) をセットする

お好みの時刻にお好みの明るさで自動点灯(ON)、自動消灯(OFF)できます。

ご注意 設定中何もせず10秒経過すると設定が解除され通常画面に戻ります。

- 設定後にチャンネルを切り替えた場合、切替え後のチャンネルで信号が送信されます。
- 設定は、かんたんタイマー動作中であってもおこなえます。(この場合、設定時刻が早いものから動作します)

[1] ONタイマー予約方法

(1) ONタイマーボタンを押す
液晶画面にONタイマー予約マークが表示されます。

ONタイマー

(2) 設定/完了ボタンを押す
画面全体が点滅します。

設定/完了

(3) 時刻設定ボタンで、点灯させたい時刻に設定する
0:00に達することに「AM」⇄「PM」と交互に切り替わります。



(4) 調光・調色ボタンで、設定時刻に送信する明るさを設定する
「9 調光・調色をする」を参考に設定してください。



(5) タイマーを毎日作動させたい場合は
タイマー繰り返しボタンを押す

液晶画面にタイマー繰り返しマークが表示されます。
押すごとに、セット⇄解除と切り替わります。

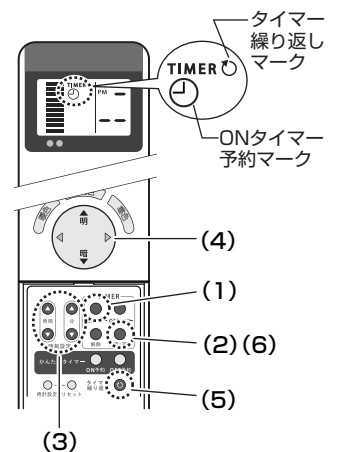
タイマー繰り返し

(6) 設定/完了ボタンを押す

設定完了

画面全体の点滅がとまります。

設定/完了



●設定時刻に常夜灯点灯させることができます。その場合は、(4)のときに常夜灯ボタンを押してください。(明るさは最後に調光した明るさとなります)

[2] OFFタイマー予約方法

(1) OFFタイマーボタンを押す
液晶画面にOFFタイマー予約マークが表示されます。

OFFタイマー

(2) 設定/完了ボタンを押す
画面全体が点滅します。

設定/完了

(3) 時刻設定ボタンで、消灯させたい時刻に設定する
0:00に達することに「AM」⇄「PM」と交互に切り替わります。



(4) タイマーを毎日作動させたい場合は
タイマー繰り返しボタンを押す

液晶画面にタイマー繰り返しマークが表示されます。
押すごとに、セット⇄解除と切り替わります。

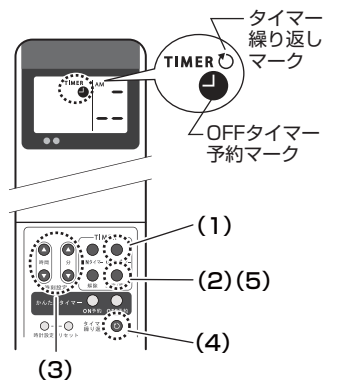
タイマー繰り返し

(5) 設定/完了ボタンを押す

設定完了

画面全体の点滅がとまります。

設定/完了

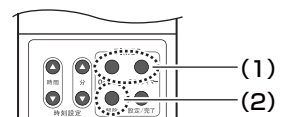


●設定時刻に常夜灯点灯させることができます。その場合は、(3)か(4)のあとに常夜灯ボタンを押してください。(明るさは最後に調光した明るさとなります)

[3] ONタイマー、OFFタイマー解除方法

(1) ONタイマーボタン (またはOFFタイマーボタン) を押す

(2) 解除ボタンを押す 設定時間表示とともに、液晶画面のON (またはOFF) タイマー予約マークが消えます。



12 かんたんタイマーをセットする

セットしてから一定時間後に自動点灯(または消灯)できます。

- ON予約OFF予約ともに、設定時間が表示されると同時にカウントダウンが始まります。
- 設定を変更した場合、再設定した時間で改めてカウントダウンが始まります。
- 設定後にチャンネルを切り替えた場合、切替え後のチャンネルで信号が送信されます。
- 設定はTIMER(ONタイマー/OFFタイマー)動作中であってもおこなえます。(この場合、設定時刻が早いものから動作します)
- ON予約とOFF予約を同時に設定できません。【例】ON予約済みの状態でOFF予約の設定をおこなうとOFF予約モードになりON予約が解除。

[1] ON予約方法

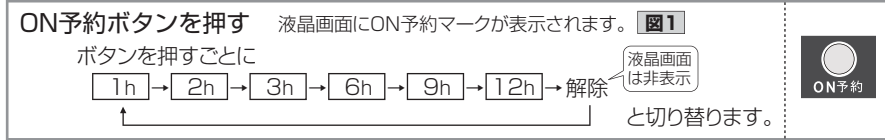
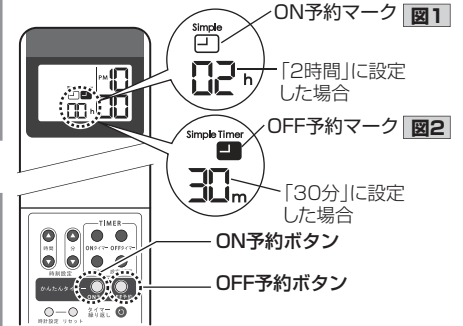
セットしてから1~12時間後に器具を自動点灯(100%点灯)できます。

ON予約ボタンを押す 液晶画面にON予約マークが表示されます。 **図1**

ボタンを押すごとに

1h → 2h → 3h → 6h → 9h → 12h → 解除

液晶画面は非表示と切り替えます。

[2] OFF予約方法

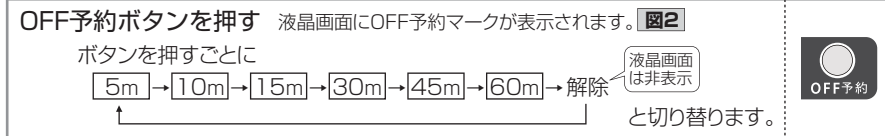
セットしてから5~60分後に器具を自動消灯できます。

OFF予約ボタンを押す 液晶画面にOFF予約マークが表示されます。 **図2**

ボタンを押すごとに

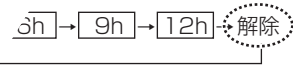
5m → 10m → 15m → 30m → 45m → 60m → 解除

液晶画面は非表示と切り替えます。



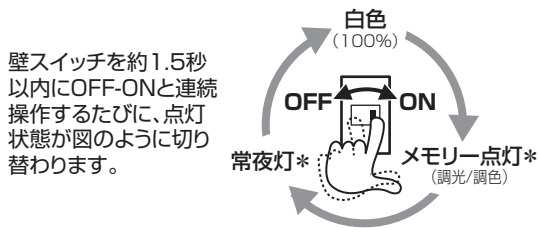
[3] ON予約、OFF予約解除方法

ON予約ボタン(またはOFF予約ボタン)で解除を選択する
設定時間表示とともに、液晶画面のON(またはOFF)タイマー予約マークが消えます。



13 壁スイッチについて

壁スイッチを約1.5秒以内にOFF-ONと連続操作するたびに、点灯状態が図のように切り替わります。



*メモリー点灯・常夜灯はリモコン送信器で最後に調節した明るさと光色です。
壁スイッチでの調光・調色はできません。常夜灯は調色できません。

お知らせ

壁スイッチでOFFにした場合

壁スイッチをOFFにしても点灯状態は記憶されます。
壁スイッチをONにすると、壁スイッチOFF前の状態で点灯します。

リモコン送信器でOFFにした場合

付属のリモコン送信器でOFFにした場合、壁スイッチをONにしても点灯しません。
壁スイッチをOFF-ON連続操作(※白色からスタートします。)が付属のリモコン送信器で点灯してください。

- リモコン送信器でOFFにしても壁スイッチがONのままですと、待機電力を消費します。
長時間使用しない場合および外出する際は、省エネのため壁スイッチをOFFにしてください。

ただし、リモコンによるタイマー予約中は除きます。



14 故障かな?と思ったら

まずはじめに → ●壁スイッチがONになっているか確認してください。

全ての操作ができない

- 送信器に乾電池が入っていない。
⇒乾電池をセットしてください。
- 乾電池が消耗している。
⇒2本とも新しいものと交換してください。(1本だけですと正しく動作しません)
- 送信器側に内蔵のリモコン制御用マイコンに誤作動が発生。
⇒電池を抜き、5分待ってから再度セットしてください。
- 器具側に内蔵のリモコン制御用マイコンに誤作動が発生。
⇒壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再操作してください。
- 送信器と器具側のチャンネルが違っている。
⇒送信器と器具側のチャンネルを同じ数字にしてください。器具のチャンネルがわからない場合は、送信器のチャンネルをまず「1」に合わせて操作し、動かない場合は「2」または「3」に合わせて操作してみてください。

タイマーが作動しない

- 送信器の現在時刻が正しくセットされていない。
⇒現在時刻を正しくセットしてからタイマー予約をおこなってください。
- 送信器が物で覆われている。
⇒覆っているものを取り除いてください。
- 送信器と器具側のチャンネルが違っている。
⇒送信器とタイマー予約したい器具のチャンネルを同じ数字にしてからタイマー予約をおこなってください。器具のチャンネルがわからない場合は、送信器のチャンネルをまず「1」に合わせて操作し、動かない場合は「2」または「3」に合わせて操作してみてください。
- 送信器からの信号が器具に届いていない。
⇒リモコンの受信範囲を確認し、信号が届く場所に送信器を移動してください。
- 送信部が器具に向けられていない。
⇒送信部を器具に向けてください。

リモコンの利きが悪い

- 操作する際ボタンを確実に押していない。
⇒ボタンの端などを押した場合正確に操作できない場合があります。操作する際はボタンの中心部を押してください。
- 送信部が器具に向けられていない。
⇒送信部を確実に器具に向けて送信してください。
⇒複数の器具を使用する場合、同じチャンネルにしても器具同士が離れていると一方の器具が受信しにくくなる場合があります。この場合反応しなかった器具に向けてもう一度送信してください。

- 送信部・受信部が汚れている。
⇒柔らかい布で拭いてください。
- 器具が障害物で遮られている。
⇒障害物を避けて送信してください。

以上の処置をしても正常に作動しない場合は販売店にご連絡ください。

15 保守・点検・その他の留意点

[1] LEDについて

- (1) LEDには光のバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- (2) LEDを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- (3) 器具のきわめて近くで、赤外線リモコン方式のテレビ等の機器を使用すると、リモコン操作に影響を与える場合があります。
- (4) 器具を山間部、鉄筋建物等の電波の弱い地域でご使用する場合、音響、映像機器に影響を与えることがあります。特に器具の近くでのラジオの使用はお避けください。雑音が入る場合があります。
- (5) ホタルスイッチは3個までとしてください。
4個以上では、スイッチを切ったときにランプが点滅したり暗く点灯することがあります。また壁スイッチ点灯切替機能付きの器具は、正常に切替ができない場合があります。

[2] お手入れについて

- (1) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
* 汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
* 木材、紙、布などは水拭きせずに、柔らかい布またははたきで、こまめにほこりを落としてください。

【ご注意】

- * スプレー式洗剤などを直接器具にかけると火災の原因になります。必ず布に含ませてご使用ください。
 - * シンナー・ベンジン等のご使用はお避けください。器具が変色・変形する場合があります。
- (2) 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃をおこなってください。

[3] その他の留意点

- (1) 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- (2) 揮発性物質および殺虫剤等を器具にかけないでください。
- (3) 長期間ご使用にならない場合は次のような保管環境をお守りください。
* 直射日光を避けて0~35℃の温度範囲で保管してください。
* ほこりの多い場所での保管は避けてください。
* 35~85%の湿度範囲で保管してください。
- (4) 廃棄の際は分別回収にご協力をお願いいたします。

[4] 照明器具の寿命について

⚠注意 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による)

※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
 - 点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。
- 「安全チェックシート」は弊社ホームページ(<https://www.odelic.co.jp>)で紹介しています。

16 仕様

| 電圧 | 周波数 | 入力電流 | 消費電力 | 光源 |
|---------|------------|-------|-------------------------|-----|
| AC 100V | 50/60Hz 共用 | 0.32A | 31W ※リモコン待機時 1W未満 | LED |

- 屋内用
- 使用周囲温度：5℃~35℃
- LED光源寿命：40,000時間
(LEDの交換はできません)
- 調光器不可
- リモコン付
- クイックA取付
- 天井面取付専用
- 傾斜天井対応45度まで
- 調光：100%~1%
- 調色：電球色~昼光色

17 保証とアフターサービス

保証について 保証の内容は下記のとおりとさせていただきます。

保証期間

保証期間は、商品お買いあげ日(お引き渡し日)より1年間です。

但し、LED電源装置とLEDユニットは5年間です。電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。

※保証の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

1. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
2. お買いあげ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
4. 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
5. 施工上の不備に起因する故障や不具合
6. 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
7. 日本国内以外での使用による故障及び損傷
8. LEDの光源減衰による光量や色調の変化
9. 経年変化による外観上(光沢、色調など)の変化
10. 保証開始時点では、技術的に予想することができなかった偶発的な要因によって発生した故障および損傷

アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

1. 保証期間中は

万一故障がおきた場合は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)まで申し出てください。

2. 保証期間を過ぎていたときは

お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品(同等機能を有する代替品を含む)です。

お問い合わせ・ご相談は **カスタマーサービス 03-3332-1123** へご連絡ください。

オーデリック株式会社 〒168-0081 東京都杉並区宮前1-17-5